

■履修モデル 中学社会・高校公民

区分	必要 単位数	種 別	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次	
			第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	2	必修		* 教職入門					
	教育の基礎理論に関する科目	6	必修		* 教育心理学	* 教育原理 教育行政				
			選択		教育学					
	教育課程及び指導法に関する科目	中学:14 高校:8	必修		教育の方法と技術	* 社会科・公民科 指導法Ⅰ	* 社会科・公民科 指導法Ⅱ 特別活動指導論			
			中学:必 修			* 社会科・地歴科 指導法Ⅰ	* 社会科・地歴科 指導法Ⅱ	道徳教育研究		
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4	必修				* 生徒・進路 指導論	教育 カウンセリング		
	教育実習	中学:5 高校:3	必修						教育実習Ⅰ又は教育実習Ⅰ・Ⅱ 実習指導	
教職実践演習	2	必修							教職実践演習	
教科に関する科目	中学:22 高校:20	必修	世界地誌	日本地誌						
			心理学 環境社会学 ジェンダー論		民法Ⅰ 行政法					
			哲学 政治学 社会学 経済学 マクロ経済学 日本史 a 日本史 b 【西洋史 a 西洋史 b (いずれか1科目必修)】 【人文地理学a 人文地理学b (いずれか1科目必修)】							
		選択	倫理学 法学 世界経済事情 ミクロ経済学 自然地理学a 自然地理学b 文化人類学 英国庭園文化論 山形地域論 地理学フィールドワーク エネルギーと社会 国際関係論 地方自治論 地方自治法 行政学 民法Ⅱ 会社法 環境法 公益事業論 社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ 地方財政論 社会政策 観光政策論 経済史 経済学史 アジア経済論 International Economics 民俗学と観光 アメリカ事情 自然環境の保全と共生							
			生涯学習概論		障害者福祉論 児童福祉論					
			外国語(別掲1)							
			体育と健康(通年科目)							
教科又は教職に関する科目	中学:8 高校:16	選択	生涯学習概論							
			障害者福祉論 児童福祉論							
教育職員免許法施行規則第66条の6に規定する科目(基礎的な科目)	8	必修	外国語(別掲1)		体育と健康(通年科目)					
			情報リテラシーⅠ	憲法	介護等体験					

注) 1. 中学免許を取得する場合は、上記のほか「介護体験」が必修となっている。

・特別支援学校 2日間(連続して) ・社会福祉施設等 5日間(連続して)

2. 表中に網掛けしている科目は、卒業単位に含まれる。

3. 1年前期に『心理学』、1年後期に『教育学』を受講しておくことが望ましい。

4. 1年前期から教科に関する科目をなるべく積極的に受講しておくことが望ましい。

5. \*印は、教育実習を行う前に履修しなければならない科目。

6. 語学・情報科目と教職必修科目が重なった場合、クラス変更が可能な場合があるので、教職担当教員に相談すること。

外国語(別掲1)	科 目 名
	英語Ⅰ(基礎英語) 英語Ⅱ(リスニング)
	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ

※ 2言語から1言語選択必修